

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、腎臓小児科では、順天堂大学大学院医学研究科 解剖学・生体構造科学と共同で実施する下記研究のために、本学で保管する下記の残余検体・診療情報等を順天堂大学大学院医学研究科 解剖学・生体構造科学に対して提供しています。

この共同研究の詳細をお知りになりたい方は、下記の本学での研究内容の問い合わせ担当者もしくは研究代表機関の問い合わせ先まで直接ご連絡ください。尚、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の検体・診療情報等を「この研究課題に対して利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、同じく本学での問い合わせ担当者もしくは研究代表機関の問い合わせ先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[共同研究課題名]

集束イオンビーム走査電子顕微鏡を用いたポドサイトの3次元形態・構造解析

[共同研究の研究代表機関及び研究代表者]

研究代表機関・研究代表者：東京女子医科大学腎臓小児科 白井陽子

本研究に関する問い合わせ先：東京女子医科大学腎臓小児科 白井陽子

電話：03-3353-8111（応対可能時間：平日9時～16時）

[利用・提供の対象となる方]

1989年1月から2025年3月の間にネフローゼ症候群または腎炎に対し、腎生検を行った患者さんまたは末期腎不全に対し腎移植後、移植腎生検を行った患者さんを対象とします。

[利用・提供している残余検体・診療情報等の項目]

残余検体：残余腎生検検体または残余移植腎生検検体

診療情報等：性別、年齢、診断名、血液検査(Cr, BUN, Na, K, 血糖)、尿一般検査、尿沈渣、尿蛋白定量、尿中クレアチニン定量、腎生検の病理診断結果等。

[利用・提供の目的]（遺伝子解析研究：無）

集束イオンビーム走査電子顕微鏡(FIB-SEM)を用いて、ヒトの腎臓を構成する細胞の構造を詳細に解析する研究で、腎臓病によりタンパク尿が出現するしくみを解明することが目的です。

[主な共同研究機関及び研究責任者]

順天堂大学大学院医学研究科 解剖学・生体構造科学 教授 市村浩一郎

[研究実施期間および主な提供方法]

期間：倫理審査委員会承認後より**2029年2月**までの間（予定）

提供方法：直接手渡し 郵送・宅配 電子的配信 その他

[この研究での検体・診療情報等の取扱い]

倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした検体や診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されないよう加工をしたうえで取り扱っています。

[東京女子医科大学における研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

研究責任者：東京女子医科大学腎臓小児科 白井陽子

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学腎臓小児科 白井陽子

電話：03-3353-8111（応対可能時間：平日9時～16時）

[東京女子医科大学における機関長] 理事長 **清水 治**